

学校教育目標

やりぬく平井の子
やりぬく心
やりぬく体

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする

多くの児童が本好きで、読書科の取り組みにより、教科に関係なく、調べ学習等で図書館を利用することも多い。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、主体的に学ぶ姿勢や学習方法の基礎を培う

ねらい

- ① 児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ② 学び方指導を充実し、図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
- ③ 多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指導の重点

- ① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- ③ 読書科推進委員を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・本を正しく扱い、楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しみ、図書館を正しく利用することができる。	第三学年	・様々な種類の図書に興味もち、読もうとする。 ・すすんで図書を利用して、課題について調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・自らの目的に応じた図書を適切に選び、情報収集を行う。
	第二学年		・読み物をすすんで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方を身に付け、図書館を効果的に、また正しく利用できる。		第四学年

具体的な取り組み

〔各教科〕

- 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
- 自力解決のための情報の収集等、情報活用能力を養う。
- 定期的に読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔読書科〕

- 教員や高学年児童による読み聞かせを行うことで、読書の推進、習慣化を目指す。
- 調べ学習の方法を身に付け、自主的に課題を見つけ、課題解決に向かう姿勢を養う。

〔総合的な学習の時間〕

- 学び方や考え方を身に付ける。
- 自ら課題を見出し、探究に主体的に取り組む。
- 系統的に情報活用能力を育成する。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、図書の整備を行うなど、自発的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
- 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。

〔朝読書の推進〕

- 学年文庫の本を、毎月入れ替えることで、幅広い内容の本と触れ合う機会をつくる。

〔家庭・地域との連携〕

- 保護者の読み聞かせによる親子読書の推進。
- 図書ボランティアや公立図書館との連携。

図書資料による道徳的心情の育成

読書週間の工夫

定期的な研修の実施

図書環境の整備・充実